

憩いの四季まつり&図書館まつり

大口町老人福祉センター

2/11・12
土日



2月11日(土)、12日(日)の両日、大口町老人福祉センターで憩いの四季まつり&図書館まつりが開催されました。

会場では、うたごえ喫茶、お茶会体験コーナーなどが催され、図書館では「絵本のパンが本物に！アンパンマンとなかまたち」の展示コーナーに本物のおいしそうなパンが展示され「可愛い！食べてみたい！」と訪れる人の関心を集めていました。

大口町まちづくり協働フォーラム2017

ほほえみプラザ

2/12
日



大口町まちづくり協働フォーラム2017「あなたと創る大口(まち)の未来」が開催されました。

講師に、地域問題研究所 加藤栄司さんをお迎えし、「大口町のこれまでとこれから」についてお話しをしていただきました。パネルディスカッションでは大口町の未来を一緒に考え、今後協働をどう発展させたらよいか話し合われました。会場からも「子どもから大人、行政が『大口町が大好き』という想いがベースにないと発展しない」という意見が出され、それについても検討されました。

大口町プロモーション講座

堀尾跡公園

2/25
土



▲おおくち歴史ガイドから説明を聴く参加者

大口町は、住民の皆さんと大口町の魅力を発信し、地域をPRすることにより、地域内外から「定住の地」として選ばれる「まち」を目指していくというシティブロモーションに取り組んでいます。

大口町では昨年からのプロモーション戦略の策定を進め、12月からは町民の皆さんとまちの魅力を発信していくための会議や講座が開かれています。今回は、「大口町を歩いてみよう。まちの魅力を見つけに行くまち歩き講座」がおこなわれ、堀尾跡公園周辺の魅力を見つけに、おおくち歴史ガイドの説明を聴いて「まち歩き」をしました。おおくち歴史ガイドは4月から本格的に活動を開始する予定です。

後半は、公園周辺以外の歴史・文化、食、自然、仕事、建物、人、まちのスポットについて意見を出し合い、情報発信の手段として、Facebookやインスタグラムの利用方法を学びました。





第12回 北児童センターまつり

大口北児童センター

2 / 18
土



▲お絵かきせんべいをつくる子どもたち

児童センターで活動している元氣クラブ主催の大口北児童センターまつりが開催されました。

テーマは『みんなのえがお』。今回は児童クラブの保護者、民生委員、木こりプロジェクト、(株)東海理化、COCO壺番屋、町内外の団体が協力してまつりを盛り上げ、センターはみんなの笑顔であふれていました。子どもたちはゲームや体験、食べるコーナーで楽しい時間を楽しみました。

地域の方と交流会



大口北保育園

2 / 23
木

新園舎完成が近づいた大口北保育園で、日頃お世話になっている地域の方や、建設でお世話になった皆さんをお招きして交流会がこなわれました。

園児は、全員で元氣よくお礼の挨拶をし、歌や、「はなさかしいさん」の劇を披露しました。地域や建設関係の皆さんは、可愛らしい衣装を着た子どもたちが、役になりきり堂々と演技する姿に拍手を送り、子どもたちの成長に喜びを感じているようでした。

心に残る最後の学年集会

大口中学校

3 / 2
木



▲自分が担当したパーツをさがす生徒たち



▲最後の仕上げ作業

撮影に携わり、改めて充実した環境の中で中学生生活を送れたことを見つめ直すことができました。



大口中学校3年生(228人)が卒業式を翌日に控え、最後の学年集会が開かれました。

スクリーンから、中学校生活でお世話になり転任された先生方からお祝いのビデオメッセージが映し出されると、思わずモニターに手を振る生徒や、涙ぐむ生徒も。続いて、3年生を受け持った先生方がお祝いの言葉を述べられました。最後に学年主任の鈴木里佳先生が「人生には必ず『困難』が待っています。自分を信じて、励まして、乗り越えて生きてください」と挨拶されました。

その後、卒業式の壇上を飾る卒業制作『モザイクアート』のお披露目がおこなわれました。犬山市のイトーテック(株)に裁断していただいた、40万ピースの色紙(1cm角)を3年生全員で貼り合わせ、2か月かけて完成させました。全員で作品を見るのはこの日が初めて。カーテンが開くと歓声が響きました。

最後は3年生が出演した大口中学校を紹介するDVDが上映されました。DVDは姉妹都市松江市本庄中学校へ送られます。全員で作った想いが本庄中学校に届き、そして、これを機にご縁が結ばれるといいですね。